

(作成年月日) 2023年5月30日

(臨床研究に関する情報)

当施設では、下記の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体または通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。この研究は、厚生労働省・文部科学省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」(令和3年3月23日制定、令和4年3月10日一部改正。)に従って実施しています。この研究に関するお問い合わせや、検体・診療情報をこの研究に利用することにご了承いただけない場合は、下記の連絡先・相談窓口へご照会ください。検体・診療情報の利用にご了承いただけなかった場合でも、それが理由で不利益を受けることはありません。

この研究は、香川大学医学部倫理委員会で承認されています。また、香川大学医学部長より実施の許可を受けています。

[研究課題名] 尿検体を用いた新規心不全マーカーの開発

～尿中マーカーの疾患特異性に関する検討～

[研究の目的]

これからの日本は高齢化社会になり、2030年には65歳以上の割合が総人口の約32%を占め、心不全患者さんが35万人以上に達することが予想されています。これを“心不全パンデミック”と呼んでいます。心不全は入退院を繰り返すことから、このまま心不全パンデミックを迎えてしまうと、病床の不足が深刻になり、十分な治療が行き届かなくなる可能性が危惧されています。そこで、私たちは在宅診療において、患者さん自身でも検査ができる迅速・簡易検査キットの開発を目指しています。心不全患者様で尿中アンジオテンシノーゲンが増加する事を我々は報告していますが、その併存疾患による特徴を調べるために、患者様の検査値と検体を用いて解析を行います。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

本院にてBNP又はNT-proBNP値を検査し、尿検査を実施した患者様

○利用する検体・診療情報

検体：尿(中央検査室で保管している廃棄予定の残検体)

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査等)、治療内容等

[研究組織]

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

担当医師：香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 宮井 翔平

附属病院総合診療科 石川 かおり

電話 087-891-2150 FAX 087-891-2152